

ボランティア活動 ガイドブック

このガイドブックは大学生の皆さんが地域でのボランティア活動を
積極的かつ安全に取り組むことができるためのものです
ボランティア活動に参加する前はこのガイドブックを熟読したうえで
責任を持って活動に参加してください

問い合わせ先

甲南大学 地域連携センター
(岡本キャンパス 12号館1階)

TEL : 078-435-2276 (月～金／9:00～17:00)

MAIL : korec@ml.konan-u.ac.jp

I. ボランティアの基本について

1. ボランティア活動の4つの原則

自主性・主体性

他人から強制されることなく自分から進んで行う活動

社会性・連帯性

ともに支え合い学び合う活動

無償性・無給性

活動に対する金銭的な報酬を受けない活動

創造性・先駆性

より良い社会をつくる活動

2. 活動に参加するにあたっての注意事項



① 最後までやり遂げること

ボランティア活動への参加は強制されるものではありませんが、申し込み後や活動途中にやめたりすることは受け入れ先の団体に多大な迷惑をかけます。申し込みの際「無理なく続けられるか」を考えてから申し込むようにしてください。また、予定を変更せざるを得ない場合には、必ず相手に電話連絡（電話での連絡が難しければメールで）してください。

② 常にリスクを考えること

ボランティア活動を含め学外での活動にはリスクがつきものです。このため、「**ボランティア保険**」（年500円～600円程度）に**必ず加入してください**（各地域の社会福祉協議会で加入する）。なお、何かトラブルが起きた場合は、受入団体の紹介先等に相談した後、ただちに大学（地域連携センター、自身が怪我をした場合は大学医務室）に連絡してください。

※在学中は、「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」に加入していますが、補償範囲が学生自身のケガなどに限られているので、ボランティアに参加する場合は、必ずボランティア保険に加入してください。

※災害ボランティア活動の場合は、＜市民活動災害共済プラン＞ではなく、地震・噴火・津波に起因するケガも補償する＜天災危険補償プラン＞に加入してください。

③ 責任を持ち、節度ある行動を取る

活動中は大学生としての自覚を持ち、相手への心配りを大切にしながら活動してください。相手のプライバシーを尊重し、写真や動画などで個人情報を出させないように気をつけてください。

3. ボランティア活動の流れ

① 情報収集

地域連携センターのHP・ML・TwitterやMyKONAN、学内掲示から情報収集する。地域の社会福祉協議会やボランティアセンターでも入手可。

② 申し込み

募集チラシや募集要項に従って各自で申し込む。団体の活動内容や参加条件など注意事項を確認するのを忘れずに。

③ 活動準備

ボランティア保険に加入し（保険料は自己負担）、いざという時の連絡先を確認しておく。受入団体と連絡先を交換するなどスムーズなやり取りができるようにしておく。

④ 活動実施

自ら進んで行動することを基本に、団体の一員として責任を持って行動する。困ったことがあれば一人で悩まず受入団体や大学に相談する。

⑤ 活動報告

活動内容を記録し、ボランティア科目やKONAN ボランティアサーティフィケートの取得に積極的にチャレンジする。

Ⅱ. ボランティア科目について

1. 実践ボランティアⅠ・Ⅱについて

一定の要件を満たす学外のボランティア活動については、事前に履修登録し、活動報告を提出することで「実践ボランティアⅠ・Ⅱ」として単位を認定します（卒業単位として認められるかどうかは各学部によって異なります）。なお、この科目は**事前登録科目**であり、申請結果は後期の履修登録期間に反映されます。詳細についてはシラバスや履修ガイドブック等を確認してください。

科目区分	履修対象	科目名	単位	時間数
キャリア創生共通科目	全学部	実践ボランティアⅠ	1	30時間
		実践ボランティアⅡ	1	30時間

2. 履修スケジュール

履修登録申請	4月～9月初旬 (申請締切日まで)	「ボランティアガイダンス」(4月頃)および「ボランティア講座」(6月頃)に参加する 「CHIIKI(地域)×GAKUSEI(学生)マッチングイベント」に参加する 「ボランティア科目履修登録申請書」を地域連携センターに提出する(仮登録)^{注1)} 関係書類^{注2)}を受け取る
活動期間	4月～翌年1月上旬 (活動報告まで)	- 各自でボランティア活動(30時間、または60時間以上)に参加する^{注3)} - 活動内容等を記録する
履修登録確認	9月中旬 (後期履修登録締切日まで)	- 上記の履修登録申請に基づいて、「実践ボランティアⅠ」および「実践ボランティアⅡ」があらかじめ履修登録されているのを確認する - 本科目は、履修登録期間および履修登録修正期間に取消のみ可能(再登録は不可)
活動報告 (レポート提出)	翌1月上旬	レポートなどの必要書類^{注4)}を期限までに地域連携センターに提出すること

* 履修スケジュールや成績評価等の詳細については、シラバスやガイダンス、地域連携センターのHPなどで確認してください。

注1) 本科目は、事前登録科目であるため、履修登録は地域連携センターを通してのみ可能です。

注2) 関係書類とは、『①ボランティア活動ガイドブック&活動記録ノート』『②活動記録カード』『③レポート作成要項』『④受入団体報告書』を指します。詳細は、地域連携センターのHPを参照してください。

注3) 原則として、地方自治体やNPO法人等が主催するボランティア活動が対象です。

注4) この授業では「ボランティア活動に参加したこと自体」ではなく、活動内容についてのレポートによって成績評価を行います。

Ⅲ. KONAN ボランティアサーティフィケートについて

1. KONAN ボランティアサーティフィケートとは

甲南大学では、授業成績には現れにくい努力や挑戦を評価する「KONAN サーティフィケート」という制度を設けています。

その1つである「KONAN ボランティアサーティフィケート」は、ボランティア活動や地域プロジェクトを通じて身につけた、行動力や課題解決力、企画力などを3段階（1～3級）で評価するものです。

ボランティアサーティフィケートには、地域連携センターのHPから各自、随時エントリーすることができます。「ボランティア活動や地域プロジェクトに興味がある」「目標を持って活動したい」と考える人はぜひ積極的にエントリーしてください。



KONAN サーティフィケートのメリット

- ① あなたの取り組みが大学から公式に認定された実績になります（認定証や記念品が授与されます）。
- ② 就職活動の際の履歴書や自己PR等に記載でき、あなたの努力が客観的にも評価されたことをアピールすることができます。
- ③ 目標を設定することで、あなた自身を成長させるモチベーションにつなげることができます。

【各級の指標】

3級 ボランティアや地域活動に取り組む力を持つとともに、ボランティア・地域連携に必要な探求心・発信力などを持っている。

2級 ボランティアや地域活動に継続的に取り組む力を持つとともに、ボランティア・地域連携に必要な探求心・発信力・企画力・行動力などを持っている。

1級 ボランティアや地域活動に継続的に取り組む力を持つとともに、自分で地域の課題を発見し、その解決のために主体的に活動できる力を持っている。



2. スケジュール

エントリー	随時	「KONAN サーティフィケート共通エントリー用紙」を地域連携センターへ提出、または地域連携センターHPからエントリーする 「ボランティア活動ガイドブック&活動記録ノート」「活動記録カード」を受け取る
活動期間	在学中	- ボランティア活動や地域プロジェクトに各自で申し込み、参加する - 活動内容等を記録しておく
活動報告 (取得申請)	毎年1月末	- 評価基準を参考に、取得要件を満たしたタイミングで申請する 「活動記録ノート」や「活動記録カード」のほか、「活動内容が確認できる募集チラシや募集要項など」を併せて提出する
審査および 結果報告	2～3月上旬	申請された内容をもとに審査が行われ（1級は面談あり）、その結果が通知される

* 詳細については、地域連携センターのHPを確認してください。



3. 評価基準について

サーティフィケートの評価基準は、大きく6つ（AからF）にわかれており、それぞれの項目に従って点数化され、その合計点で認定級（1～3級）が決まります（7ページの評価基準表参照）。自分自身の活動に合わせて、段階的に基準をクリアしていきましょう。なお、各評価項目の注意事項については以下の通りです。

(A) 行動力

[ボランティア]

- ✓ 在学中において、地域（海外を含む）や学内で活動したボランティアを対象とします。
※学内でのボランティアは、最大20時間まで計上できます。
- ✓ 集合前・解散後の移動時間、事前説明会、研修会、ミーティング、休憩、睡眠時間（宿泊を伴う場合）は活動時間には含みません。
- ✓ 地域（海外を含む）で活動したボランティアは「実践ボランティアⅠ・Ⅱ」での活動時間を含めることができます。
- ✓ 部活やサークルなど団体に参加するボランティアを含めることができます。

[地域プロジェクト]

- ✓ キャリア創生共通科目「地域プロジェクトⅠ・Ⅱ」に該当する地域プロジェクトは、活動時間を20時間とみなします。
- ✓ 「地域プロジェクト」での活動は、(A) 行動力と (E) 企画実現力のどちらかでのカウントとなります。(E) 企画実現力にてカウントした場合、(A) 行動力として活動時間に含めることはできません。

(B) 継続力

- ✓ 基本的に学年暦を1年としてカウントしますが、申請時期が1月末のため、2・3月に活動を行った場合の時間は翌年度分としてカウントします。

(C) 探求心

- ✓ 単位修得が確定した科目を対象とします。なお、後期開講科目は成績発表が3月のため、翌年度分としてカウントします。

(D) 発信力

- ✓ 「地域連携センター主催行事などでの情報発信」は2件以上で5点とします（3件以上でも加算されません）。
- ✓ 「地域団体や自治体が主催する意見交換・提案プログラムへの参加」は2日以上で5点とします（3日以上でも加算されません）。
- ✓ 「地域連携センターHP/Twitter等での情報発信」は3件以上で5点とします（4件以上でも加算されません）。

[HP/Twitter等での情報発信について]

ボランティアや地域プロジェクトの活動内容と活動を通じての感想などを文書で作成し、以下の必要事項とともにメール送信してください。また、地域連携センターHPには、署名付き原稿（学籍番号を除く）を掲載できます。就職活動の際に、活動実績を示す資料等として活用してください。匿名を希望する場合は、学部学科、学年のみ記載させていただきます。

[宛先] 地域連携センター：korec@ml.konan-u.ac.jp

[件名] 活動報告

[本文] ①学部学科、学年、学籍番号、氏名

②署名付きを希望する or 匿名を希望する

③活動内容

④活動を通じて学んだことなど（250～400字程度）

[添付] 写真2枚（事前に被写体や団体の了解を得たもの）



(E) 企画実現力

- ✓ 企画立案から実施まで行うボランティア・地域連携のプログラムへの参加を対象とします。なお、研修を伴う一般的なボランティアは本項目の対象とはなりません。
- ✓ 「御影クラッセACT広報誌『みかげの輪』を制作するACT広報部での活動」については、3回発行に携わった期間を1期とします。
- ✓ 学生自身が主体となっていく地域活動については活動時間を一律10時間とみなします。

(F) 課題解決力

- ✓ 自主的・自発的にボランティアの企画を立ち上げ、周囲を牽引して実現した学生を対象とします。

■ KONAN ボランティアサーティフィケート 評価基準

	項目	内容	基礎点	3級	2級	1級	
必須	(A)行動力	地域連携センターMLへの登録	－	登録していること			
		ボランティア活動への参加（累積時間）（注1）	－	20時間	40時間	60時間	
		地域プロジェクトへの参加（累積時間）（注2）	－				
		※「地域プロジェクトⅠ・Ⅱ」に該当する地域プロジェクトは活動時間を20時間とみなす					
(B)継続力	1年につき10時間以上のボランティアを継続した年数 （1年＝学年暦によりカウントする。申請時期が1月末のため、2・3月の活動時間は翌年度分としてカウントする）	－	1年以上	2年以上	2年以上		
選択	(C)探求心 （右の科目で単位修得が確定したもの）	ボランティア論	5	5以内	10以内	10以内	
		地域連携入門	5				
		地域とメディア	5				
		地域ファシリテイト	5				
		その他、地域連携センターが指定するボランティア・地域連携に関連する科目（注3）	5				
	(D)発信力	地域連携センター主催行事などでの情報発信 2件以上	5			10以上	
		地域連携センターHP/Twitterでの情報発信 3件以上*	5				
		地域団体や自治体が主催する意見交換・提案プログラムへの参加 2日以上	5				
		その他、上記に準ずるもの	5				
	(E)企画実現力	地域連携支援プロジェクト助成金の採用 1期につき	5				
		地域連携センター学生コーディネーター 1期につき（注4）	5				
		御影クラッセACT広報誌「みかげの輪」を制作するACT広報部での活動 1期につき（注4）	5				
		長期（3ヶ月以上）の研修プログラムを伴うボランティア・地域連携プログラムへの参加 1期につき	5				
		「地域プロジェクトⅠ・Ⅱ」に該当する地域プロジェクトへの参加 1期につき（注2）	5				
		その他、上記に準ずるもの	5-10				
	(F)課題解決力	地域の課題を発見し、それを解決するためにボランティア・地域連携の企画を自主的に立案し、他者と協同して実行する	5-10				
	(G)その他	「ボランティア講座」または「CHIIKI（地域）×GAKUSEI（学生）マッチングイベント」の参加（注5）	5				
		(C)－(F)に当てはまらないが、ボランティア・地域連携の活動として評価できるもの	5-10				
	必要な得点の総数						10以上

注1) 学内でのボランティアは、最大20時間まで計上できます。

注2) 「地域プロジェクト」での活動は、(A)行動力と(E)企画実現力のどちらかでのカウントとなります。

注3) 「NPO/NGO論」「地域社会論」「ソーシャル・キャピタル論」「地域創生」「地域政策ワークショップ」「まちづくりと行政」など

注4) 学生自身が主体となつて行う地域活動については活動時間を一律10時間とみなします。

注5) 「ボランティア講座」とは、ボランティア活動の意味や、活動の経験談、注意事項などを学ぶ講座です。「CHIIKI（地域）×GAKUSEI（学生）マッチングイベント」とは、NPO等の地域団体と甲南生とが出会うためのイベントです。



ボランティア・地域プロジェクト・地域連携
に関する情報収集はこちらから

地域連携センター (KOREC)

<https://www.konan-u.ac.jp/korec/>



メーリングリストやTwitterで
地域に関わるさまざまな情報を随時発信しています
ぜひ登録してください

地域連携センターML
(メーリングリスト)



X (旧Twitter)
@konankorec



そのほか、My KONANや学内掲示板（12号館1階、10号館1階、
5号館1階）にて情報発信しているので、要チェック！

もしものときは…

ボランティア活動等で困ったとき／トラブルが発生したときは
速やかに大学に連絡してください

怪我をしたとき

甲南大学 医務室

078-435-2703

その他困ったとき

甲南大学 地域連携センター

078-435-2276

ボランティア活動 記録ノート

学 部	
学籍番号	
氏 名	

- * この活動記録ノートは『ボランティア科目』の成績評価、および『KONAN ボランティアサーティフィケート』の認定の際に使用します。
- * 最終報告時には、この活動記録ノートとともに、①活動記録カードまたは参加したことが証明できる資料（参加証明書や写真など）、②活動内容が確認できる募集チラシや募集要項などを提出してください。
- * 『KONAN ボランティアサーティフィケート』の項目（A）～（G）ごとに記録するページが分かれています。該当するページに記録してください。

ボランティア活動記録

[illegible]

ボランティア・地域連携に関連する科目 — (C) 探求心

科目名	履修年度	担当教員名
地域連携入門	2020年度	甲南太郎 先生

* 単位修得が確定していることを証明するため、以下のどちらかを提出すること。

- ・ My KONANの「成績照会」画面を印刷したもの
- ・ 学修簿（証明書自動発行機より出力）

情報発信や活動報告 — (D) 発信力

[illegible]

ボランティアプログラムやプロジェクトへの参加 — (E) 企画実現力

[illegible]

自主企画 — (F) 課題解決力

企画名

企画内容
課題発見 企画立案 取り組み 結果

* 企画書や報告書など、企画に関する書類を併せて提出すること。

その他、ボランティア・地域連携について取り組んだ活動　－（G）その他

活動内容
各大学のボランティアセンターにヒアリングを行い、大学のボランティアセンターの役割について取り上げた卒業論文を作成。

「ボランティア科目」活動報告前にチェック！

- ☐ 30時間もしくは60時間のボランティア活動ができている。
- ☐ レポート（2,000字程度）が書けている。
- ☐ 活動記録（活動記録ノートP10～P18）が書けている。
- ☐ 活動記録カードに活動証明となるサインをもらえている。
もしくは参加が証明できる資料を添付できている。
- ☐ 募集チラシや募集要項など活動内容が確認できる資料を添付できている。
- ☐ 地域連携センターから発信している情報以外のボランティア活動については、
受入団体報告書に記入し、添付できている。



✓ すべてにチェックできたら、地域連携センターまで提出！

「KONAN ボランティアサーティフィケート」申請前にチェック！

- ☐ 級取得に必要な条件を満たしている。
- ☐ 活動記録ノートに活動内容を記録できている。
- ☐ 活動記録カードに活動証明となるサインをもらえている。
もしくは参加が証明できる資料を添付できている。
- ☐ 募集チラシや募集要項など活動内容が確認できる資料を添付できている。



✓ すべてにチェックできたら、地域連携センターまで提出！

